

kagoshima local network

みなみネット@鹿児島都市圏

空き家対策でタツグ

市と鹿銀 事業利用者に金利優遇

鹿児島銀行は30日、鹿児島市と「空き家対策事業の推進に関する覚書」を結んだ。市が進める空き家対策事業の利用者が、鹿銀の空き家解体・改修ローンを組む場合、金利を0・3%優遇する。鹿銀が空き家対策で自治体と提携するのは初めて。ほかの市町村とも協議を進める。

市は昨年度から空き家対策事業を始め、30万円を上限に解体費などを助成している。本年度は24件を受け付ける計画で、現在5件の申請がある。

鹿銀が7月から販売する「空き家対策ローン」の金利は年2・6%。市の助成対象者は年2・3%に優遇され



空き家対策で覚書を結んだ上村基宏頭取（右）と森博幸市長＝30日、鹿児島市役所

る。上限は500万円。これまで空き家対策で借りの場合、金利が高

い使途自由ローンしかなかったという。市役所で30日あった

締結式には上村基宏頭取と森博幸市長が出席。上村頭取は「営業を使って空き家を調べさせる。市にも情報を提供したい」と話した。

南日本新聞掲載分

空き家対策ローン続々

空き家の増加が社会問題となる中、鹿児島銀行（鹿児島市）と鹿児島相互信用金庫（同市）は7月1日から、空き家対策に特化したローン商品の取り扱いを始める。空き家の解体や再利用にかかる所有者の負担を資金面から支援し、自治体が進める空き家対策も後押しする狙い。

鹿銀の「かぎん空き家対策ローン」は、空き家の解体費用や、賃貸目的とするためのリフォーム費用、防火・耐震改修費用を対象に、年2・6%の金利で貸し出す。同行が提携する自治体の補助金受給者には、金利を0・3%優遇する。鹿相信の「そうし

鹿銀と鹿相信 低金利でPR

ん空き家解体支援ローン」は解体に特化。同行のリフォームローンや無担保住宅ローンの店頭金利は17%（2013年10月から0・1%割り引く。いずれの商品も、従来の使途自由ローンより低金利で融資が受けられる。両金融機関の担当者は今後、徐々に利用が増えるようになるとみている。総務省の調査によると、鹿児島県の空き家率は17%（2013年10月現在）で、全国で8番目に高い。5月に空き家対策特別措置法が全面施行され、空き家の所有者に適切な管理が求められるようになった。（吉田文